

1 開催日時

平成28年5月11日（水）午後2時から

2 開催場所

会議棟第1会議室

3 出席者

委員：武石委員 岩田委員 藤宮委員 新藤委員

事務局：阿部学校教育部長 小俣社会教育部長 岡田学校給育部参事
岩本学校教育課長 福嶋庶務係長

4 協議項目

(1) 東大和市立小・中学校におけるむし歯り患率について

5 会議の要旨

(1) 東大和市立小・中学校におけるむし歯り患率について

①主な説明

- ・東京都の学校保健統計書の資料では、平成27年度におけるむし歯（う歯）り患率については、小学校では26市中26位、中学校では26市中25位を推移している。
- ・むし歯（う歯）り患率が、小学校においては順位は高いが中学校になると低くなる市や、逆に中学校は順位が低い小学校になると高くなる市があるため、この差の理由などを今後分析し参考にした上で方策を考えたい。
- ・平成27年度の学校歯科保健取り組みプランとしては、給食後の歯みがき、給食後のブクブクうがいや歯みがき指導・歯科講和などに取り組んだ。
- ・学校における取組状況については、小学校4校で年間を通じて全学年で歯みがきを実施、小学校1校でフッ化物洗口を実施したところ効果が見られたことで引き続き実施、歯科コンクール（ポスター、標語、作文等）への参加を行った。
- ・今年度の学校歯科保健取り組みプランとしては、歯と口の健康週間（6月4日～6月10日）及びいい歯の日（11月8日）に、給食後の歯ブラシによる歯みがきを実施、歯みがき指導・歯科講和の実施、表彰の実施及びポスター作成等、歯科健康診断結果のお知らせによる受診勧奨、歯科健診後未受診者への受診勧奨通知の配布、年間を通じて給食後に歯みがきを実施するなどの取り組みを実行する。
- ・歯科医師方の話では、むし歯予防には給食後の歯みがきが一番効果的であるとのこと。

②主な内容

- ・むし歯については、家庭での役割が大きいと考えられ、むし歯に対する親の意識がすごく低いと感じる。

- ・就学時健診時や定期健康診断時などむし歯がわかった時点でなぜ歯医者に通わないのか疑問である。
- ・教職員の歯に関する意識は、養護教諭を含め家庭での啓発を進めているのが現状である。教職員の歯みがきの姿を見せればもっと子どもの意識が変わるのではないか。
- ・東京都の学校保健統計書の資料で例年むし歯（う歯）被患率の結果が良い市（福生市や昭島市など）に理由を確認したり、小学校では順位が悪いが中学校になると順位が上がっている市や小学校では順位が良いが中学になると順位が下がっている他市の状況内容を確認してみる。
- ・市内の学校で平均に比べて未処置率が際立って高い学校（七小・五中）があるので、理由を確認する。
- ・26市で、乳幼児に何か対策を講じているかも他市に状況を確認する。
- ・子どもたちの歯に対する意識が低い。